

別表（第4の4の（13）別記様式第7号関係）

水産業強化支援事業事後評価報告書

		島根県	
政策目的	水産資源の持続的な利用・管理の推進		
政策目標	資源管理目標		
事業実施主体	島根県		
実施地区名	島根県		
実施期間及び目標年度	実施期間	目標年度	
	令和4年度	令和4年度	
交付金額	256,000 円		
事業計画の内容	資源利用に係る調査及び漁場利用調整・指導、国際漁場隣接地域における操業指導等を行う。		
評価	成果目標	資源管理計画対象魚種を中心に操業実態に関する調査及び漁場利用等について協議を実施する。	
		現状値	会議等5回（令和4年度末時点）
		目標値	会議等10回（令和4年度末）
	（1）現状値の説明	操業区域に関する協議、漁場利用等に関する協議等に例年10回程度参加している。令和4年度は、新型コロナの影響を受け、本事業費を活用して参加した会議等は5回であった。	
	（2）地域への経済効果 （ハード事業のみ）		
	（3）資源管理の取組状況等 （ハード事業のみ）		
	（4）所見	水産資源の適切な保存及び管理を図るため、資源管理目標に係るメニューを活用した取組を実施した。 実効ある水産資源の管理のため、適正な漁場利用が行われるよう、沿岸と沖合域あるいは県外船との関係者間の調整を行い、漁場の適正利用に努める取組を実施した。	
	（5）評価機関の意見等		
今後の改善方向等に関する分析	漁業秩序を維持し漁業生産の発展を図るため、本事業を継続し、引き続き資源利用に係る調査、漁場利用調整・指導及び国際漁場隣接地域における操業指導等を行う必要がある。		

水産業強化支援事業事後評価報告書

		島根県
政策目的	水産資源の持続的な利用・管理の推進	
政策目標	資源増養殖	整理番号
事業実施主体	江川漁業協同組合	
実施地区名	江津市	
実施期間及び目標年度	実施期間	目標年度
	平成30年～令和2年度	令和4年度
交付金額	433,891千円	
事業計画の内容	アユ種苗生産施設整備	
評価	成果目標	県内主要河川における地場産アユ種苗の放流数
	現状値	385万尾（令和4年）
	目標値	400万尾
	（1）現状値の説明	本事業により整備した種苗生産施設で生産し、県内主要河川に放流した地場産アユ種苗尾数
	（2）地域への経済効果（ハード事業のみ）	水産技術センターの調査から令和4年のアユ資源量のうち放流魚は40%を占めていた。放流魚のうち地場産アユの割合は83%であったことから、県内アユ漁獲量78トン（県調べ）、アユ平均単価3,321円/kgより、生産額86,001千円の経済効果が見られた。
	（3）所見	新たな施設において、地場産アユ種苗は概ね順調に生産されている。引き続き、安定生産できれば目標値の達成も可能と考えられる。 なお、近年電気代や餌料代等の生産コストが高騰しており、これらのコスト削減が課題となっている。
	（4）評価機関への意見等	
	今後の改善方向等に関する分析	生産の効率化等により、種苗生産にかかるコスト削減を図るとともに、種苗の安定生産に向けた技術確立を目指す。